

11月15日、読売ブリッジサロンのアンケートにてご参加者の皆様からいただいたご質問への回答です。

Q1: 職場のマナー等が覚えられるようにクイズ感覚で学べるコーナー等がありますか。(30代 男性)

クイズ形式ではありませんが、転職活動や就職活動におけるマナーをご紹介しますコーナーが、「[en]社会人の転職情報[en]学生の就職情報」にそれぞれございます。

Q2: 景気が悪いのでニートや職を失う方がここ数年増加すると思いますが、トレンドが変われば募集も増えると思いますので、職業訓練所的なもののウェイトをあげればニーズが増えるかと思います。如何でしょうか。(40代 男性)

就業前の人材に対する教育プログラムとしては、内定者研修など学生対象という形で実施しておりますが、失業者に対するサービスは現在展開しておりません。今後の参考にさせていただきたいと思います。貴重なご意見ありがとうございました。

Q3: 新規事業の立ち上げにおいてはどのようなことを考えているのでしょうか。(40代 男性)

当社の存在意義である、「仕事を通じた、人生の充実」と「人材の採用と活躍による、企業の発展」を支援する>という軸に沿って、新規事業の検討を行っております。

Q4: 日本の求人広告料金が海外と比べて高いということは、今後下がる可能性があるのでは。(40代 男性)

日本における求人広告の料金が、海外と比較して高い水準にあるのは、転職に対する考え方の違いが背景にあります。比較的転職に対する抵抗感が少ない海外では、簡易情報のみの求人広告が主であることから低料金となっておりますが、転職に対して慎重な考え方をする人が多い日本では、詳細な企業情報の開示が求められます。そのため、求人広告における情報量が多く、料金も海外より高い水準になっています。国内における求人広告サイトの競争激化により料金が下がる可能性があります。大幅に料金の水準が落ち込む可能性は少ないと考えております。

Q5: 海外展開はどうなっていますか。(50代 男性)

2006年7月に中国のネット求人広告会社「英才網聯(北京)科技有限公司」への出資をしており、黒字化しております。しかし、日本と海外では求人広告に求められるものが異なり、1社1社取材を実施し、正直で詳細な情報を提供する姿勢を強みとする当社のビジネスモデルをそのまま海外に展開することは難しいと考えております。そのため、今後の海外展開については慎重に検討してまいります。

Q6: ネットカフェ難民などの就業支援はできませんか。(属性未回答)

当社の運営サイトの中には、正社員登用専門のアルバイトサイト「[en]本気のアルバイト めざせ！正社員」があります。このサイトには、正社員登用する制度を持っている企業のみの方の求人情報を掲載し、フリーターやニートと呼ばれる若年層の雇用機会の創出に努めています。2005年のサイトオープン以来、約3年半で5,000名以上のユーザーが正社員登用を果たしており、ネットカフェ難民の救済の一助となるサイトと認識しております。

以上

今後とも、エン・ジャパン株式会社をご贖賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。